

行政視察研修等報告

(議会だより臨時号)

訓子府町議会 平成29年8月1日

訓子府町議会では、7月4日札幌市での北海道町村議員研修会に参加し、翌7月5日には栗山町議会視察研修を実施しました。栗山町議会は、当町議会が平成30年の制定を目指し取り組んでいる議会基本条例を平成18年に全国で初めて制定した「議会改革」の先駆的な取り組みを実践している議会です。今回の研修には9議員が参加しましたが、今臨時号では、議長および総務文教常任委員合わせて5議員からの報告を掲載いたします。

研修総括 議長 上原 豊茂

全道町村議会議員研修 政治や経済の動向について国民目線で凝視する中、しっかり分析して国民としての意思表示をすることで「政治を国民主導とすることができる」と示唆されたと受け止めました。

栗山町議会視察研修 議会改革と議会基本条例について、鶴川栗山町議会議長他3名の議員による説明は、これまでの活動のまとめが条例となり、その運用・評価・見直しに町民の声も受け止めています。また議会運営の中継録画配信により町民の声を聞くことで議員の資質向上が図られ、さらに執行者への反問権付与は「議員が緊張感をもって自らも学習することで、個々の資質向上につながる」とのことでした。

参加議員9名の質問姿勢から、条例制定に向け前進したと確信しました。

北海道町村議会議員研修会 報告

7月4日(火)札幌市コンベンションセンター

堤 三樹磨

全道144町村、議員1,000人規模の研修会。主催者あいさつでは「JR北海道・地方議員なり手不足・日欧EPAの大筋合意」など各種問題点を列挙、昨年の主催者は「TPP問題」を取り上げており、「貿易大国日本は目先の損得のかじ取り優先」を再確認しました。

慶応大教授・金子勝氏は「トランプ政権と日本経済—地方経済への影響は?」と題し講演、「日本経済の行き詰まり状況や人口減少は地方崩壊を進めている」などと述べ、NHK解説副委員長の島田敏男氏は「日本政治の昨日・今日・明日」と題し「安倍政権支持の推移分析と憲法9条関連の予測解析」

などについて講演。今後どうすれば、またどうなるかを知りたかったところです。

講演自体は、国政の状況を再確認するだけでしたが、私は、今回の研修参加が3回目、あいさつを交わす人も増えました。「何かを求め、何かを確認しに集う」そこに全道議員研修会の意義を感じました。



行政視察研修等報告

(議会だより臨時号)

訓子府町議会 平成29年8月1日

議会改革視察研修 7月5日 栗山町議会

栗山町議会の取り組みに学ぶ

西森 信夫

今年の研修は、議会改革についてという目的をもって先進地・栗山町議会へ行ってきました。10年前の平成18年5月に制定された栗山町議会基本条例についてです。

現状は本町議会と同じような課題・問題点が多いと感じましたが、その都度、小回りよく対処してきた10年だと受け止めました。議員一人一人が真摯(しんし)に町民の声を受け止めていること、そして強力なリーダーの下、各議員の奮闘ぶりが研修を通じ学ぶことができました。

私たちも全議員一丸となって条例制定と運用に取り組むべきと感じました。

大変有意義な研修

堤 三樹磨

わが町も自治基本条例制定を検討し、議会も本年度中に議会基本条例を制定する予定です。両条例は、ともに「最高規範」と位置付けることに矛盾はないのだろうか。

今回の研修で同じ状況下にある栗山町議会に答えを求めました。栗山町も最高規範の矛盾は有識者の意見や議論でも正解は導けず、議会と行政のパワーバランスや政治的判断の下、自治基本条例を上位として整理していると、懇切丁寧な状況説明をしていただきました。他に議会基本条例制定の基本理念も確認でき、大変有意義な研修となりました。

町民の反応を感じる事が大事

余湖 龍三

議会基本条例を制定、運用し11年目の栗山町議会での研修は「新しい議会のあり方」の実践の様子を聞き、非常に勉強になる事例の報告をいただきました。

今わが議会の進めている活性化の行き先の一部を見ていることだと感じました。

住民の福祉の向上のために議会ができることを行うために「議会基本条例」が必要なのです。

その活動を通して、議員と町民が一体となってまちづくりを進める時代の必要性を感じました。

条例は改革の歩みを映すと実感

西山 由美子

全国初の「議会基本条例」制定から10年が過ぎた栗山町議会には、9年ぶり2度目の視察でした。

4年に1度の改選期ごとに行っていた条例の見直しは、10年をきっかけに、毎年モニターの方も含めて点検作業をするとは驚きでした。

印象的だったのは、平成17年から道内初の議会報告会を開催しているのですが、資料作りから人集めまで議員自らが工夫し努力していることです。

条例制定の目的意識の高さ、議員の資質向上を目指す住民との接し方など、条例は改革の歩みを映し、同時に継続することを示す目標であることを学ばせていただきました。

